

保証書

持込修理

品名	ステーション極軽クリーナー				
品番	CM-HC29				
お客様	お名前	様			〒
	ご住所				
		電話番号（ ）		ー	
お買い上げ日	年 月 日	住所・電話番号			
保証期間	お買い上げ日より	対象部分	取扱販売店	☎	
	1年	本体 消耗部品は除く			

本書はお買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご提示ご持参いただきお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げ販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外（例えば、業務用としての使用）に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

※This warranty is valid only for Japan.

株式会社 シー・シー・ピー

〒111-0042

東京都台東区寿3-14-11

蔵前チヨダビル3F

OM0/2507

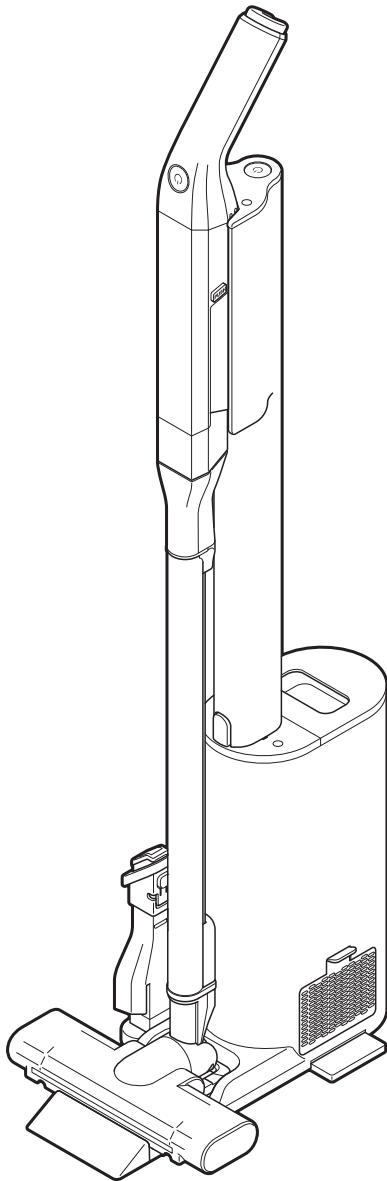
SWEETPLUS

取扱説明書

保証書付

ステーション極軽クリーナー

品番 CM-HC29



このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ごさいます。

- この取扱説明書は「CM-HC29-XX※」用です。
（※ "XX" は本体色品番）
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

◎ご使用の前に	
安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部のなまえ	6
組み立てかた	8
充電のしかた	10

◎お掃除をする	
使いかた（スティッククリーナー）	12
（ハンディクリーナー）	13

◎ゴミを捨てる	
ゴミを吸引する	14
紙パックを交換する	15

◎お手入れ	
お手入れ	16

◎困ったときに	
故障かな!?と思ったら	23
充電式バッテリーについて	24
仕様	25
商品の廃棄について	25
消耗品/別売部品	26
保証とアフターサービス	27
（保証書）	巻末

家庭用

この商品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源・電圧が異なりますので使用できません。

This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.

ご使用の前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

◎ここに示した注意事項は、本商品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を表わす図記号です。

	危険	「人が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される内容」を表わしています。
	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表わしています。
	注意	「傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表わしています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない「禁止」の内容を表わしています。		必ず実行していただく「強制」の内容を表わしています。
--	-------------------------	---	----------------------------

危険 (バッテリー)

	禁止	分解・改造はしない 液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。
	禁止	火中に投入したり加熱しない 液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。
	禁止	本商品を落としたり、強い衝撃を与えたりしない バッテリー内蔵のため、液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。
	禁止	バッテリーを単独で充電しない バッテリーの液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。
	禁止	本商品以外の機器に接続しない 過電流により、バッテリーの液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。
	必ず行なう	内蔵の電池が液漏れしたり、異臭がするときは、ただちに火気から遠ざける 漏れた電解液に引火し、破裂・発火の原因になります。
	必ず行なう	内蔵の電池から漏れた液体が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに大量の水道水などのきれいな水で洗い流す。目に入った場合はこすらずに水で流し、至急医師に相談する 皮膚に障害・目に障害や失明を起こす原因となるので、ただちに医師の治療を受けてください。

警告

	禁止	改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンター(→27p参照)にご相談ください。		ぬれ手禁止	ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない 感電・ショートの原因になります。
	禁止	充電端子に金属などを接触させない (金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない) バッテリーがショートし、液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。		使用禁止	差し込みプラグのコードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。
	単独で使用	定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する ほかの機器と併用すると、発熱により故障・火災の原因になります。		使用禁止	こどもだけで使用させない けがの原因になります。
	プラグを抜く	異常時(こげくさいなど)は、運転を停止して差し込みプラグを抜く 異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。(→27p参照)		禁止	不安定な場所には置かない 落下してけがの原因になります。
	プラグを抜く	充電時・ゴミの吸引時以外以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く 感電・漏電火災の原因になります。		使用禁止	倒れやすいもの、壊れやすいものの近くで使用しない けがや故障の原因になります。
	確実に差し込む	差し込みプラグは根元まで確実に差し込む 不完全な差し込みは、感電や発熱による火災の原因になります。		禁止	動作中は吸い込み口に触れたり、指などを入れたりしない けがや故障の原因になります。
	禁止	回転ブラシ動作中は回転部分に触れたり、指などを入れたりしない けがや故障の原因になります。		水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしない。また、風呂場などの水場では絶対に使用しない 感電・ショート・火災の原因になります。
	禁止	差し込みプラグのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない 差し込みプラグのコードが破損し、感電・火災の原因になります。		使用禁止	引火性のもの(殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない 爆発や火災の原因になります。
	禁止			禁止	吸い込み口や排気口にピンやコイン、針金などの金属異物を入れない 感電やけが、火災の原因になります。
				使用禁止	排気口にタオルやふとんなどをかけて使用しない 過熱して火災の原因になります。

注意



差し込みプラグは、必ず差し込みプラグ本体を持ってコンセントから引き抜く
差し込みプラグのコードが破損し、感電やショートして発火することがあります。



吸い込み口をふさいで長時間運転しない
過熱による本体の変形や故障、発火の原因になります。



排気口をふさがない
過熱による本体の変形や故障、発火の原因になります。



落としたり、強い衝撃を与えない
けがや故障の原因になります。



自動車内など高温、湿気の多いところに保管しない
故障、発火の原因になります。



海外では使用しない
故障、発火の原因になります。



コードは集塵ステーションに巻き付けない
感電・故障の原因になります。



充電中は本体の電源を入れない
事故や故障の原因になります。



火気に近づけない
本体の変形によるショート・発火の原因になります。



ぬれているHEPAフィルター、フィルターカバーを使用しない
感電・故障の原因になります。



ときどきは電源コンセントやプラグの点検を行なう

コンセントや差し込みプラグにほこりがたまっていると湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。

◆おもわぬ事故を防ぐために…

- ・コンセントやハンディクリーナや集塵ステーションの充電部のまわりにほこりをためないようにときどき掃除をする。
- ・差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- ・コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。
- ・差し込みプラグを差し込むとき、コンセントにゆるみがないか確かめる。コンセントが発熱し火災の原因になります。



差し込みプラグを抜き差しするときは、必ず電源を「OFF」にしてから抜き差しする
感電・故障の原因になります。



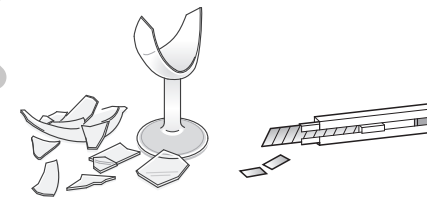
HEPAフィルターは必ず取り付ける
モーターなど内部にゴミが入ると、故障や発火の原因になります。

故障や事故などを防ぐために、必ずお守りください。

- このクリーナーは家庭用です。業務用として使用しないでください。
- 掃除以外の目的で使用しないでください。
- 本体に重いものをのせないでください。
- ご使用中にお子様やペットが触れないようにご注意ください。
- パワーブラシを床、カーペット、家具などに強く押しつけないでください。
- ワックスをかけた床でご使用されたときに、ワックスの表面にこすれ跡が生じることがあります。跡が気になる場合には再度ワックスがけしてください。
- 大理石の床など傷つきやすい床面に強く押しつけないでください。
- 差し込みプラグのコードを持って引っ張ったり、釘などにかけないでください。差し込みプラグの故障やコードが傷む原因になります。
- 差し込みプラグやコードの付け根に無理な力を加えないでください。差し込みプラグの故障やコードが傷む原因になります。
- 充電時、ゴミの吸引時以外は必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- HEPAフィルターとエアフィルターは必ず取り付けられた状態で運転してください。モーターなどの内部にゴミが入ると、故障や発火の原因になります。
- HEPAフィルターとエアフィルターが目詰まりしたまま使用しないでください。目詰まりしたまま使用すると、モーター故障の原因になります。HEPAフィルターとエアフィルターは定期的にお手入れしてください。（⇒19～22p参照）
- 毛足の長いじゅうたんやムートンなどの敷物では使用しないでください。繊維が回転ブラシの回転部に巻き込まれ、故障や敷物を傷める原因になります。
- ひも状のゴミはあらかじめ取り除いてください。パワーブラシの回転ブラシに巻き込まれ、故障の原因になります。
- 次のものを吸わせないでください。故障の原因になります。



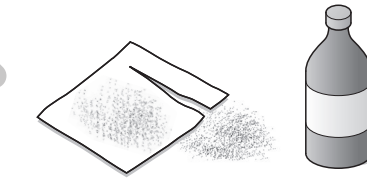
ガラス、ピン、刃物など鋭利なもの



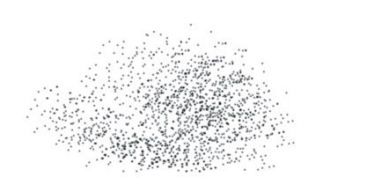
水などの液体や湿ったゴミ



殺虫剤などの薬品類

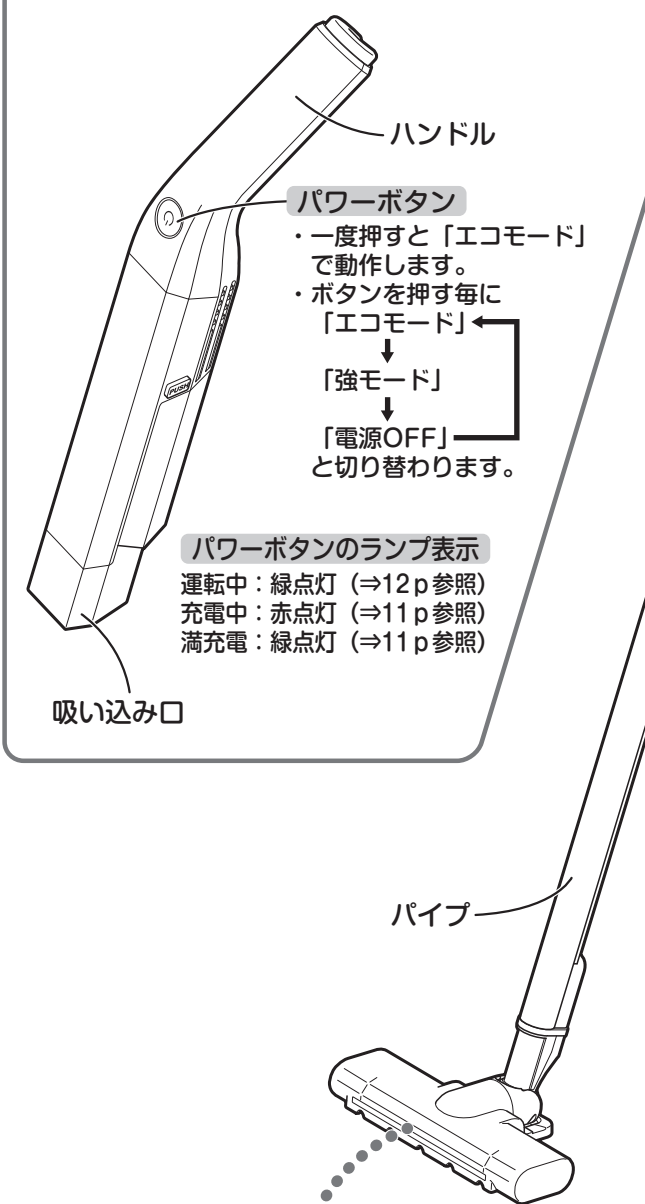


多量の砂や粉末など



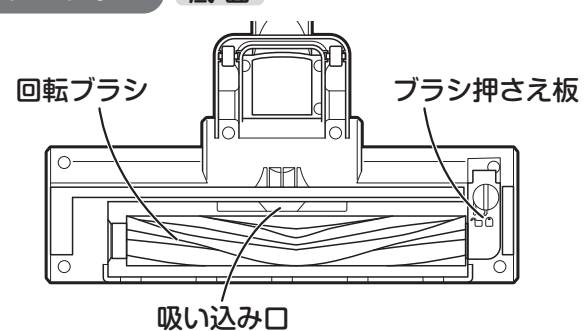
- 窓を閉めきった自動車の中など、高温となる場所への放置はしないでください。高温による本体の変形、バッテリーの破損など、故障の原因になります。
- 回転ブラシのお手入れは、電源スイッチを「OFF」にして、必ずパワーブラシを本体から取りはずして行なってください。不用意に電源が「ON」になると、けがや故障の原因になります。

ハンディクリーナー

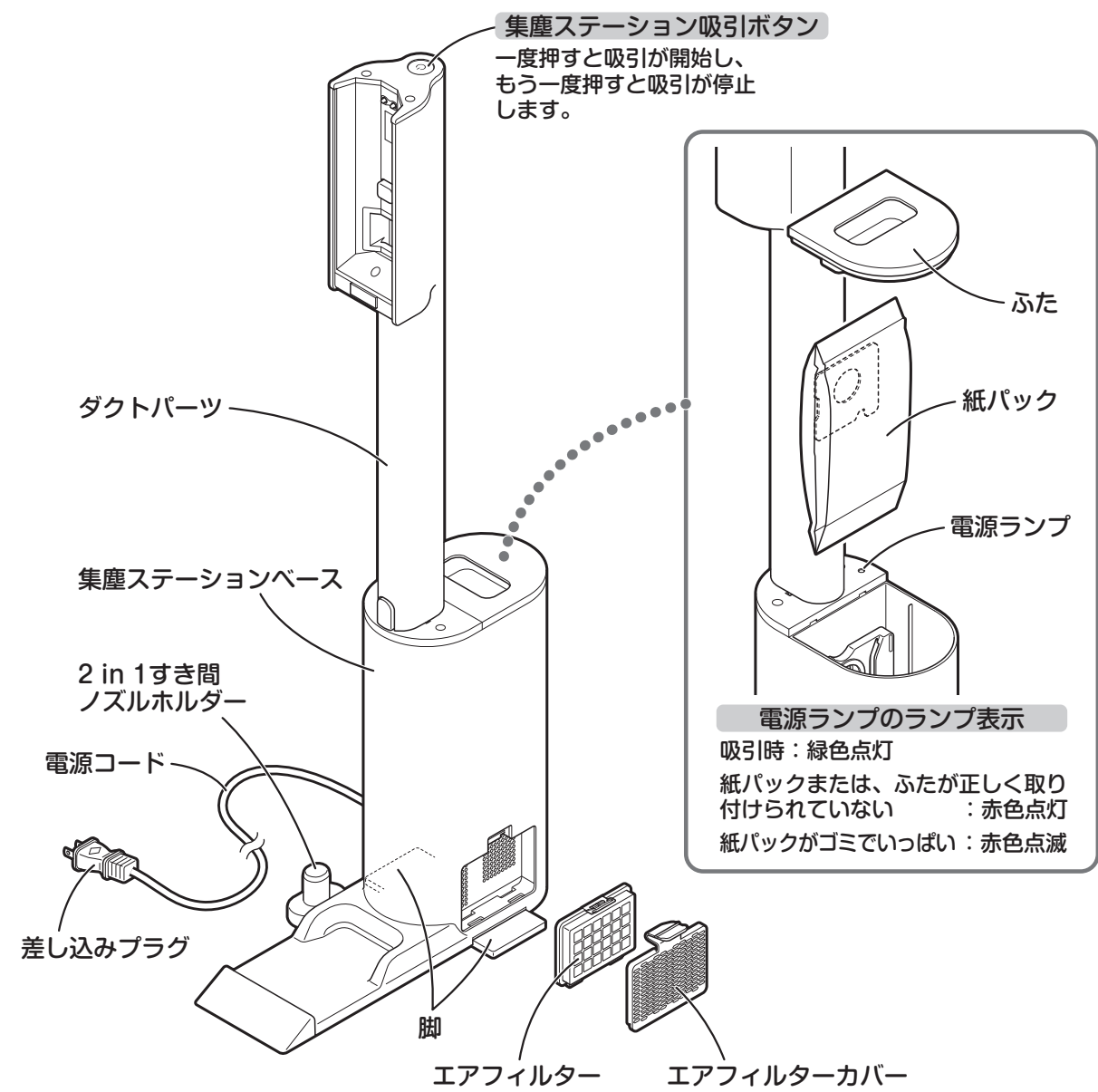
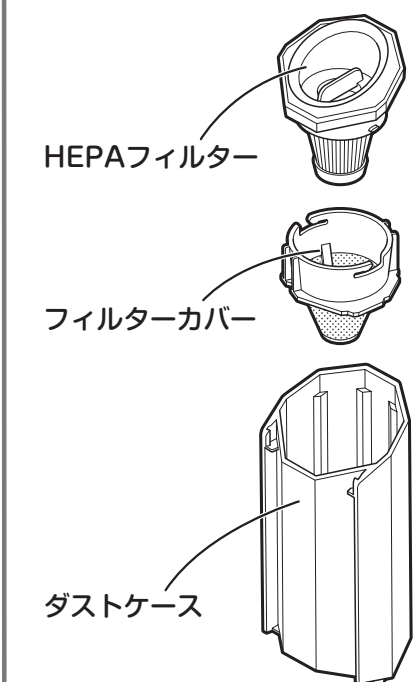


パワーブラシ

底面



ダストケースユニット

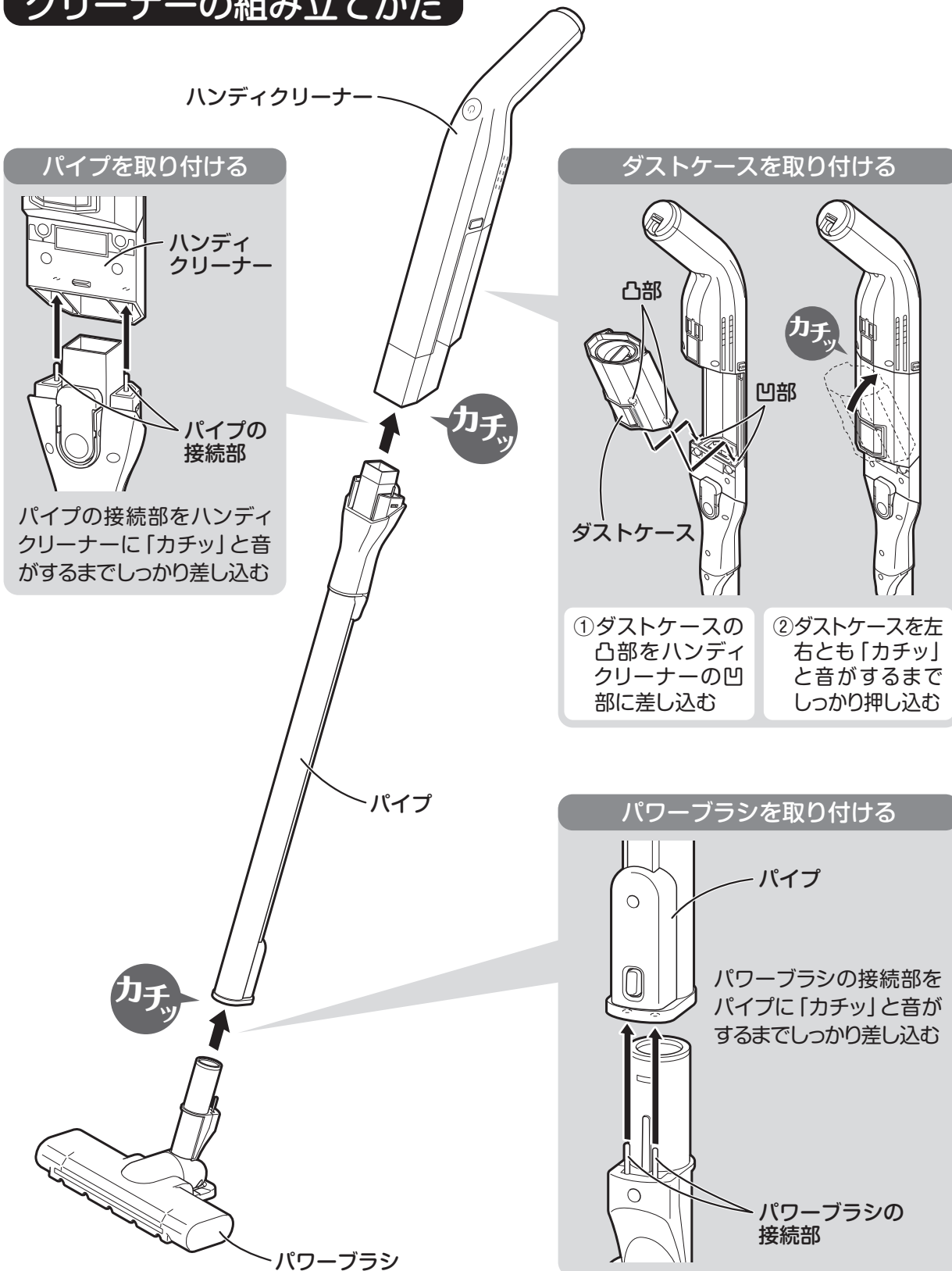


同梱品

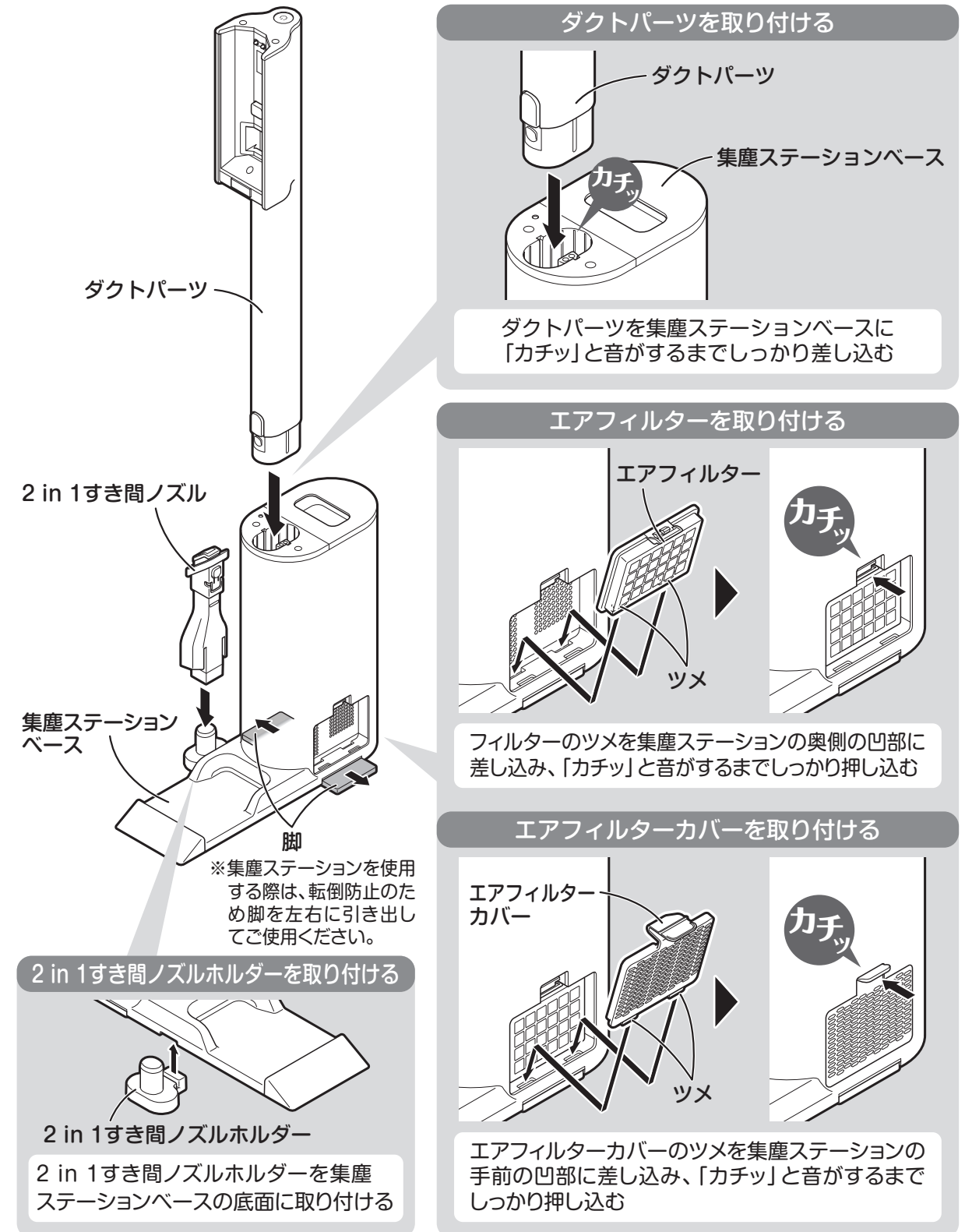
同梱品がすべて揃っているかご確認ください。



クリーナーの組み立てかた



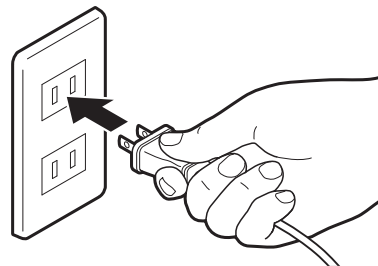
集塵ステーションの組み立てかた



- はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときには、必ず満充電になるまで充電してください。
- 充電するときは必ず電源を「OFF」にしてください。

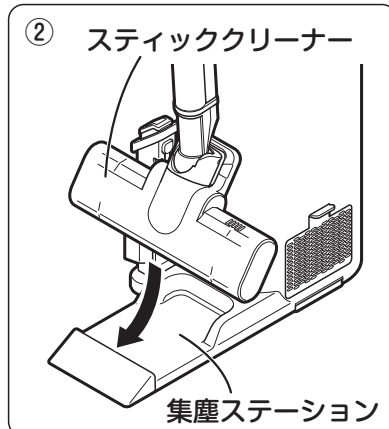
1 差し込みプラグをコンセントに差し込む

集塵ステーションの差し込みプラグをコンセント（交流100V）に差し込んでください。



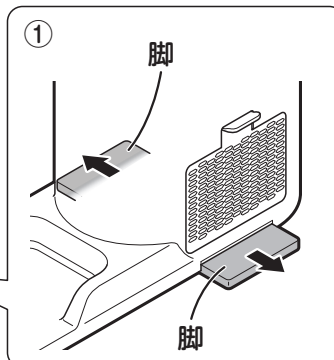
2 スティッククリーナーを集塵ステーションにセットする

- ①集塵ステーションの脚を、左右に引き出します。
- ②パワーブラシの先端を集塵ステーションにセットします。
- ③スティッククリーナーを集塵ステーションに近づけて、「カチッ」と音がしたらセット完了です。



⚠ 注意

必ず水平な場所でセットする
集塵ステーションやスティッククリーナーが倒れ、けがや故障の原因になります。



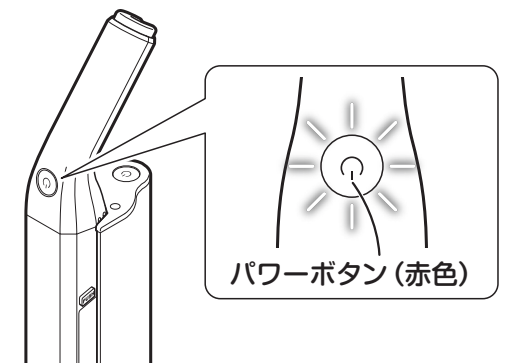
3 パワーボタンの点灯（赤色）を確認する

充電中はパワーボタンが赤色に点灯し、充電が開始します。

⚠ 注意

充電式バッテリーの温度が高い場合、パワーボタンが点滅（赤色）することがあります。

コンセントから差し込みプラグを抜いて、1時間程度放置してから再度スティッククリーナーをセットしてください。

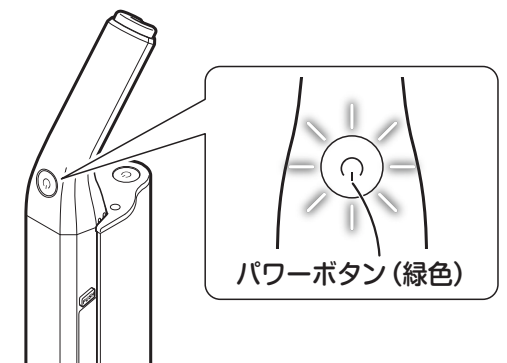


充電時間：約4.5時間

バッテリー残量により充電時間が短くなる場合があります。

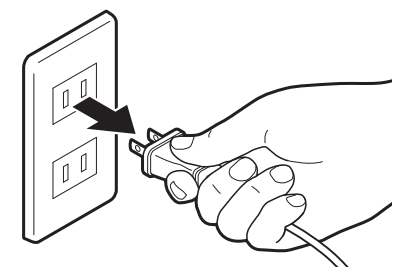
4 充電完了

充電が完了するとパワーボタンが緑色に点灯します。
※一定時間が経過すると消灯します。



5 差し込みプラグをコンセントから抜く

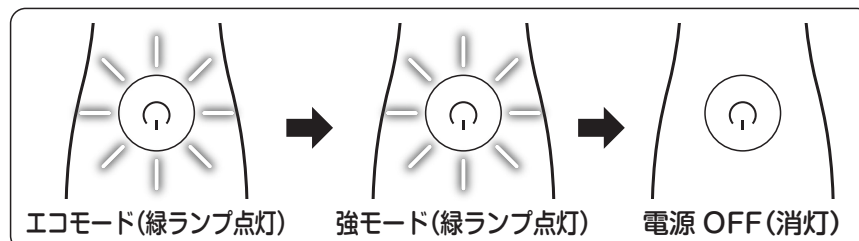
集塵ステーションの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



スティッククリーナーとして使用するとき

1 パワーボタンを押し、お掃除する

パワーボタンを押すと、ランプが点灯し運転（エコモード）します。ボタンを押す毎に「エコモード」→「強モード」→「電源OFF」と切り替わります。



※使用中、ハンドルがあたたかくなりますが、異常ではありません。

⚠ 注意

吸い込み口をふさいで長時間運転しない

過熱による本体の変形や故障、発火の原因になります。

排気口をふさがない

過熱による本体の変形や故障、発火の原因になります。

風呂場などの水のかかるところや、湿気の多いところでは使用しない
感電・ショート・火災の原因になります。

安全装置について

本商品は本体の故障やリチウムイオン充電式バッテリーの過熱による事故を防止するために安全装置を内蔵しています。モーターに過度な負荷がかかると、安全装置がはたらき、運転が止まる場合があります。

安全装置がはたらく条件

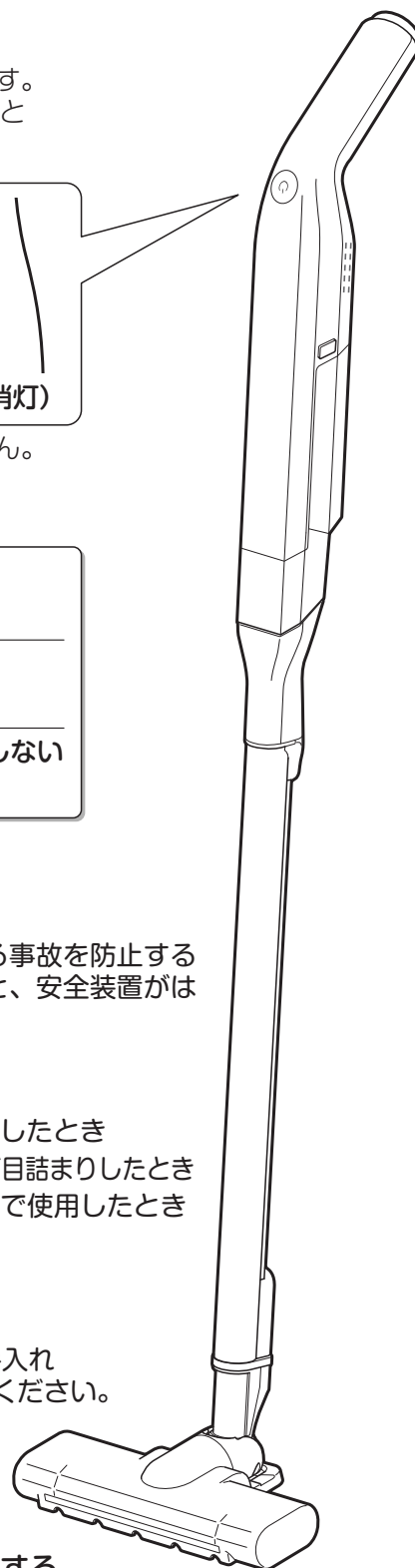
- 吸い込み口やノズルの口が大きなゴミなどでふさがれた状態で使用したとき
- 砂や粉末などを大量に吸い取ってHEPAフィルター、フィルターカバーが目詰まりしたとき
- HEPAフィルター、フィルターカバーを長期間お手入れしない状態で使用したとき
- 高温下で長時間使用したとき

安全装置がはたらいたときは

もし、安全装置がはたらいて運転が止まった場合は、各パーツをお手入れ（⇒16p参照）したうえで、1時間程度放置(冷却)してから再度ご使用ください。

※万一、通常の使用にて、安全装置がひんぱんにはたらいてしまう場合は、当社サービスセンターにご相談ください。（⇒27p参照）

2 お掃除が終わったらパワーボタンを押して電源を「OFF」にする

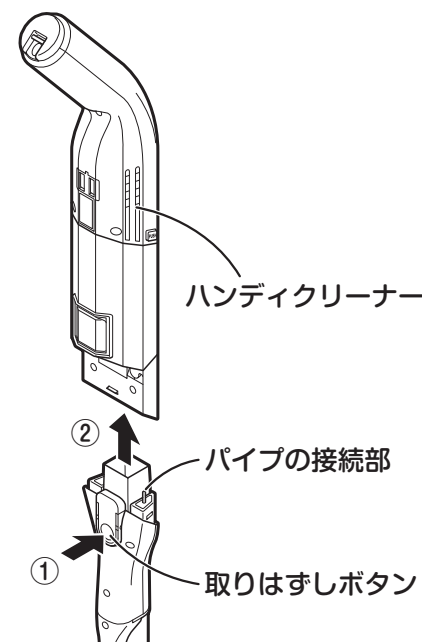


ハンディクリーナーとして使用するとき

1 パイプの接続部からハンディクリーナーをはずす

- ①パイプの接続部の取りはずしボタンを押しながら、
- ②ハンディクリーナーを取りはずします。

2 パワーボタンを押し、お掃除する



3 お掃除が終わったらパワーボタンを押し、電源を「OFF」にする

⚠ 注意

吸い込み口をふさいで長時間運転しない

過熱による本体の変形や故障、発火の原因になります。

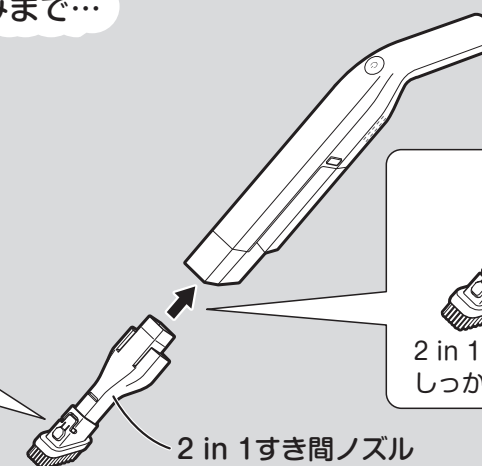
排気口をふさがない

過熱による本体の変形や故障、発火の原因になります。

ハンディクリーナーはパイプの接続部を押さえずにはずす

スティックが倒れたり、ハンディクリーナーが脱落し、けがや故障の原因になります。

付属のノズルを使ってすみずみまで…



ゴミを吸引する



警告

必ず電源を切って行ない、パワーボタンに触れない
感電・けが・やけどの原因になります。

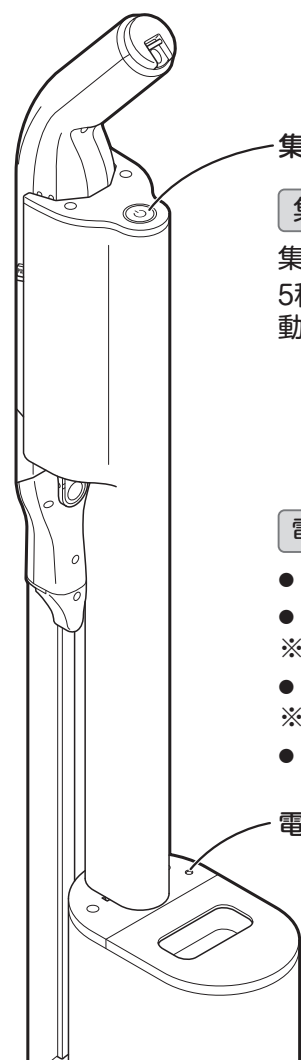


Point

ゴミを吸引するたびに、フィルターカバーをはずし、ダストケース内に残った髪の毛やほこりは、ティシューパー等で軽くふき取ってください。

- 吸込力を維持するため、こまめに集塵ステーションにセットし、ゴミを吸引してください。
- そのまま使い続けるとHEPAフィルターが目詰まりし、吸引力が低下するだけでなく、モーター故障の原因になります。

- 1 差し込みプラグをコンセントに差し込む (⇒10p参照)
- 2 集塵ステーションの脚を引き出す (⇒10p参照)
- 3 スティッククリーナーを集塵ステーションにセットする (⇒10p参照)
- 4 集塵ステーション吸引ボタンを押す
集塵ステーションの集塵ステーション吸引ボタンを押してください。



集塵ステーション吸引ボタン

集塵ステーション吸引ボタンについて

集塵ステーション吸引ボタンを一度押すと
5秒動作⇒2秒停止⇒5秒動作⇒2秒停止⇒10秒動作⇒自動停止の順に動作します。

電源ランプについて

- 吸引時⇒緑色点灯
- 紙パック、ふたが正しく取り付けられていない ⇒ 赤色点灯
※電源ランプが赤色点灯の場合ふたを正しく取り付ける (⇒15p参照)
- 紙パックがゴミでいっぱい (交換時期) ⇒ 赤色点滅
※電源ランプが赤色点滅の場合紙パックを交換する (⇒15p参照)
- 赤色点灯・赤色点滅の場合は吸引はできません。

電源ランプ

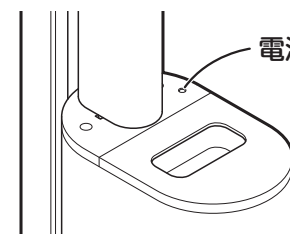
紙パックを交換する



注意

純正部品「EX-4060-00」以外の紙パックを使用しない
集塵ステーション内にゴミが漏れ、発煙や発火のおそれがあります。

- ペットの毛や綿ゴミが多いときは、ゴミがいっぱいでも電源ランプが点滅しないことがあるので、月1回は、直接紙パックのゴミのたまり具合を確認してください。
- 砂ゴミや土ぼこりが多いときは、ゴミが少なくても電源ランプが赤色点滅することがありますので、その際は紙パックを交換してください。
- 新しいじゅうたんでは、紙パックが遊び毛で早くいっぱいになることがあります。

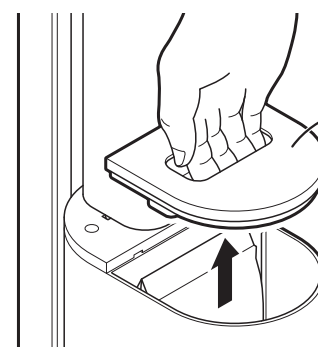


電源ランプ

電源ランプが「赤色点滅」していたら紙パックを下記の手順で交換してください。

1 ふたを取りはずす

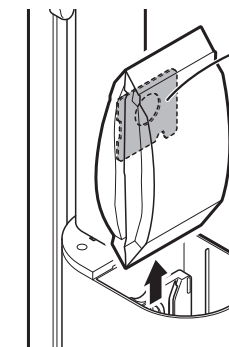
集塵ステーションのふたの凹部に指をかけ、取りはずしてください。



ふた

2 紙パックを取りはずす

紙パックの厚紙部を持って取りはずしてください。



紙パック (厚紙部)

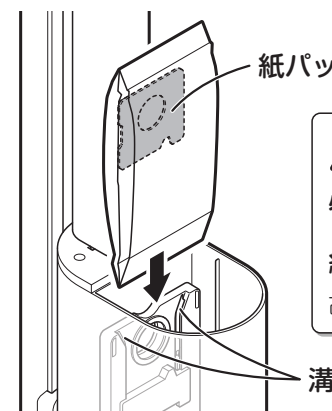


注意

必ず紙パックの厚紙部を持つ
集塵ステーション内にゴミが漏れ、発煙や発火のおそれがあります。

3 紙パックを取り付ける

新しい紙パックの厚紙部を、集塵ステーションの溝に取り付けてください。



紙パック (厚紙部)



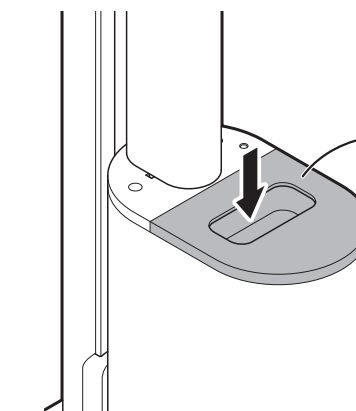
注意

必ず純正部品「EX-4060-00」の紙パックを使用する
故障の原因になります。

溝

4 ふたを取り付ける

集塵ステーションにふたを「カチッ」と音がするまでしっかり押し込んでください。



ふた

カチッ



警告

必ず電源を切って行ない、お手入れ中もパワーボタンに触れない

誤って電源が入り、おもわぬけがの原因になります。



注意

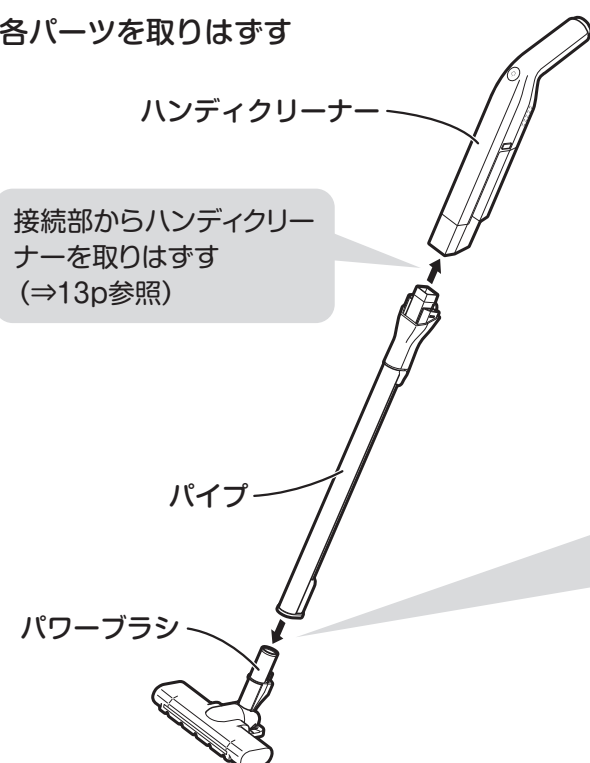
シンナー、ベンジン、アルコール、ミガキ粉などは使用しない

変色や故障の原因になります。

- 丸洗いはしないでください。(フィルターカバー、ダストケース、エアフィルターカバーを除く)
- お手入れの前にゴミを吸引してください。(⇒14p参照)

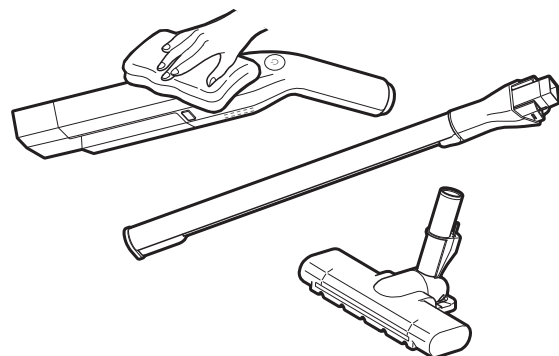
ハンディクリーナー・パイプ・パワーブラシ

1 各パーツを取りはずす

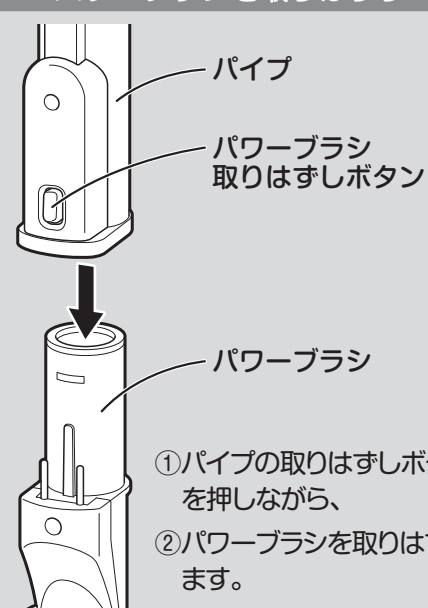


2 各パーツの汚れを取る

水を含ませ固く絞ったやわらかい布で各パーツの汚れをふき取ります。



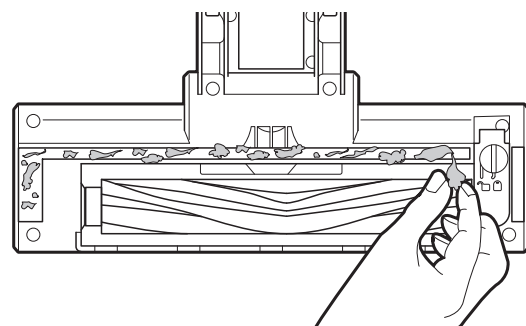
パワーブラシを取りはずす



- ①パイプの取りはずしボタンを押しながら、
- ②パワーブラシを取りはずします。

3 パワーブラシ底面のゴミを取る

パワーブラシ底面にひっかかった糸くず、わたゴミなどを取り除いてください。取れないときは、ピンセットなどで取り除いてください。

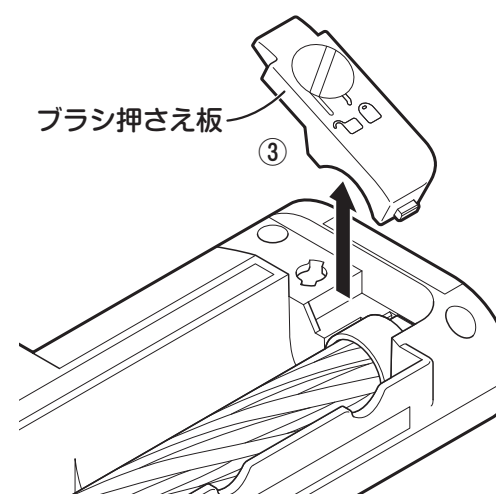
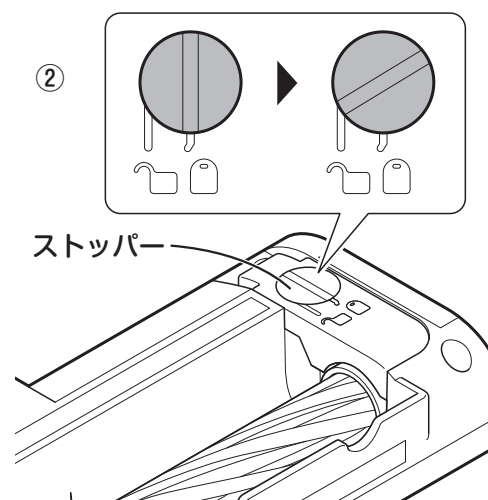


回転ブラシ

パワーブラシの回転ブラシは、糸くずや髪の毛などがからみ、回転しにくくなることがあります。故障や床面を傷つける原因にもなりますので、次の手順でお手入れしてください。

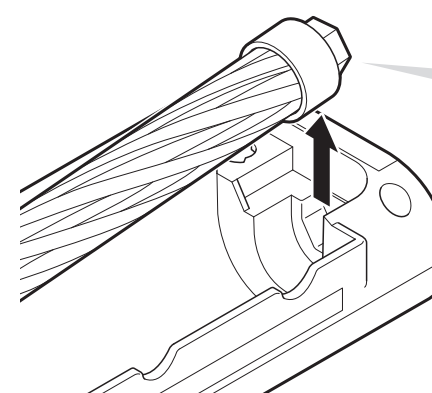
1 パワーブラシをはずし、ブラシ押さえ板をはずす

- ①パワーブラシを取りはずす (⇒16p参照)
- ②パワーブラシ底面にあるストッパーをコインなどで時計まわりに回し、
- ③ブラシ押さえ板をはずします。

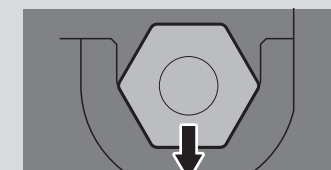


2 回転ブラシをはずす

パワーブラシから回転ブラシをはずします。



回転ブラシを取り付けるときは、



取り付ける

お手入れのあと回転ブラシを取り付ける際は、回転ブラシの向きに注意して取り付けてください。

3 回転ブラシのゴミを取る

からまっているゴミをハサミで切るなどして取り除きます。

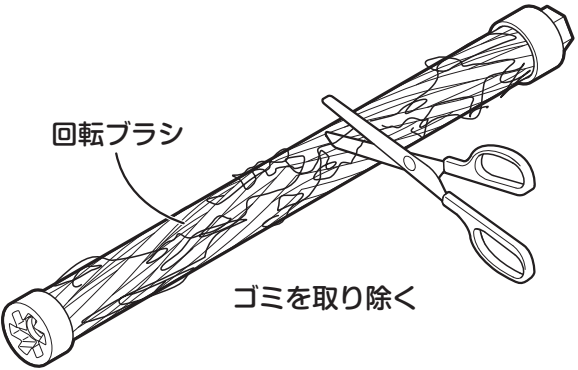
⚠ 注意

回転ブラシにゴミがからまったままの状態
で使用しない

掃除面を傷つけるおそれがあります。

回転ブラシを水洗いしない

故障の原因になります。



4 回転ブラシをもとのように取り付ける

① 回転ブラシの軸がない方をパワーブラシ本体の駆動部に差し込む

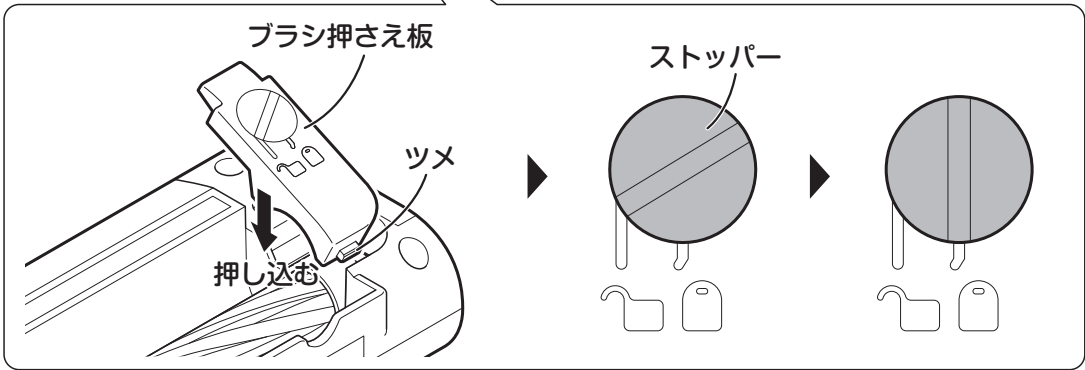
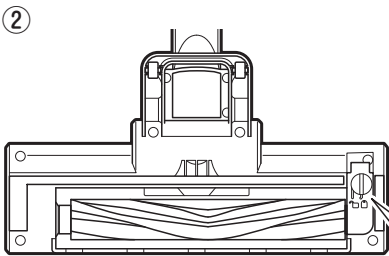
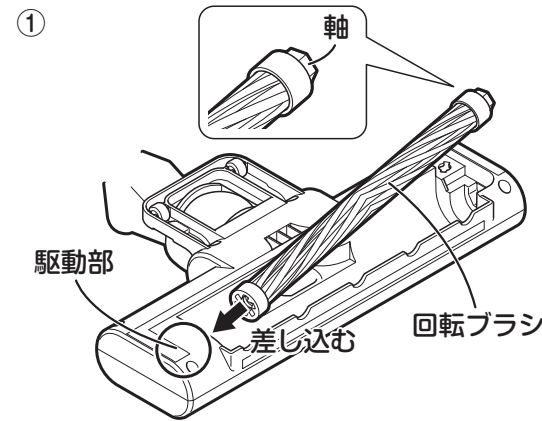
② ブラシ押さえ板の取り付けは、ツメをひっかけてから押し込み、ストッパーをコインなどで反時計
まわり回してロックしてください。

⚠ 注意

パワーブラシ全体を水洗いしない
故障の原因になります。

手・指をはさまない

けがの原因になります。



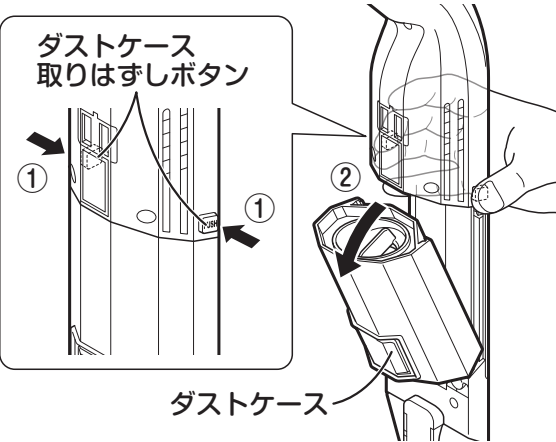
ダストケース・HEPAフィルター・フィルターカバー

1 ハンディクリーナーからダストケースをはずす

- ① ダストケース取りはずしボタンを左右とも押し
ながら、
- ② ダストケースを手前に倒し、取りはずします。

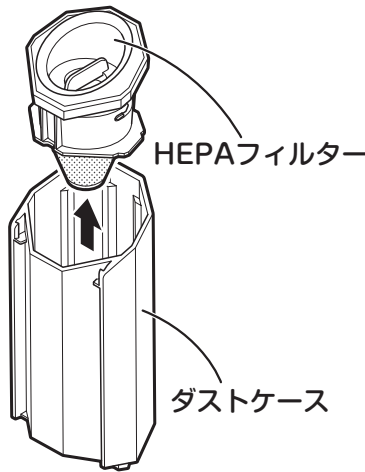
⚠ 注意

ダストケースはしっかり押さえながら取りはずす
ダストケースが脱落し、けがや故障の原因になります。



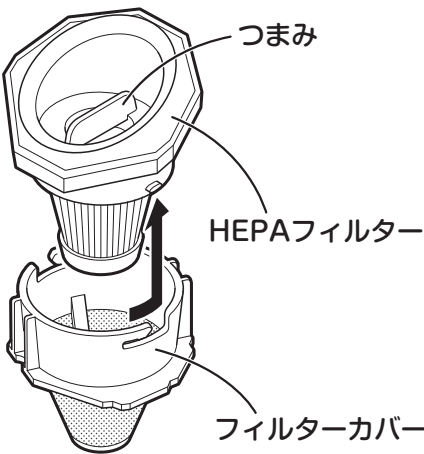
2 HEPAフィルターをはずす

ダストケースからHEPAフィルターをはずし、
ダストケースにゴミが残っている場合は、ゴミ
を捨ててください。



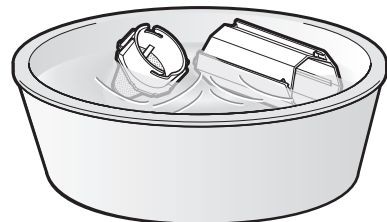
3 フィルターカバーからHEPAフィルターをはずす

HEPAフィルターのつまみを持って、
反時計まわりに回しフィルターカバーから
引き抜きます。



4 フィルターカバーとダストケースを水洗いする

- ①水道水を使い、つけ洗いをします。
- ②洗ったあとは、日陰で自然乾燥させます。



注意

ドライヤーなど温風や直射日光で乾かさないと変形することがあります。

HEPAフィルターは水洗いしない

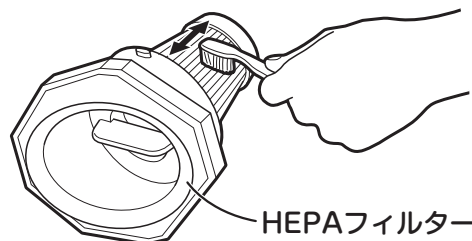
内部に水がたまって、故障の原因になります。

Point

フィルターカバーの汚れがひどいときは水につけて、やさしくふり洗いしてください。強くこすると破損することがあります。フィルターカバーは消耗品です。破れたり、目詰まりした場合は新しいフィルターカバーに交換してください。(⇒26p参照)

5 HEPAフィルターの汚れを取る

やわらかいブラシなどで、HEPAフィルターの折り目に沿ってほこりなどを取り除きます。



注意

HEPAフィルターは水洗いしない

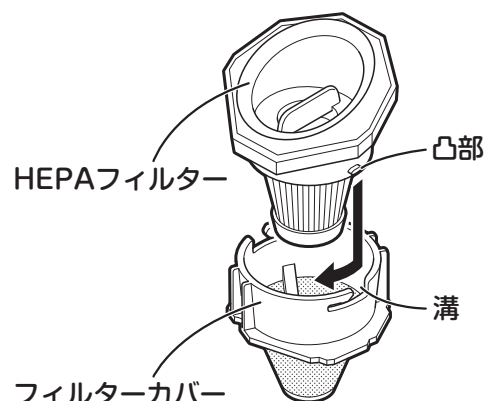
内部に水がたまって、故障の原因になります。

HEPAフィルターには必要以上に力を入れない

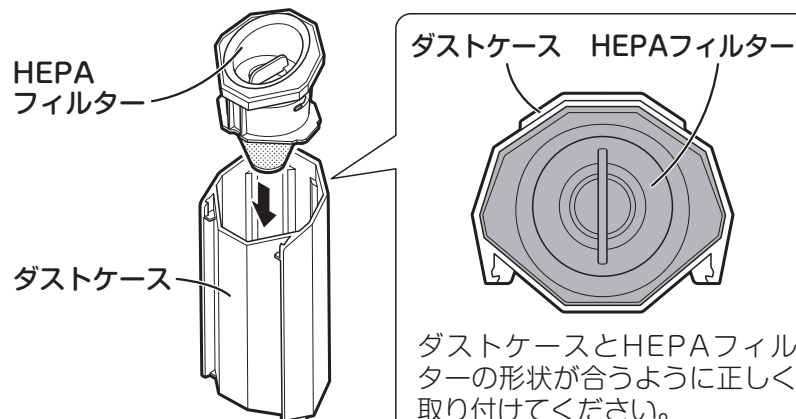
HEPAフィルターが傷んだり、破れる原因になります。

6 フィルターカバーにHEPAフィルターを取り付ける

HEPAフィルターの凸部をフィルターカバーの溝に入れ、時計まわりに回し取り付けます。



7 ダストケースにHEPAフィルター、フィルターカバーを取り付ける



注意

HEPAフィルター、フィルターカバーは必ず取り付ける
HEPAフィルターを取り付けないで使用すると故障の原因になります。

HEPAフィルターをダストケースに無理やり押し込まない

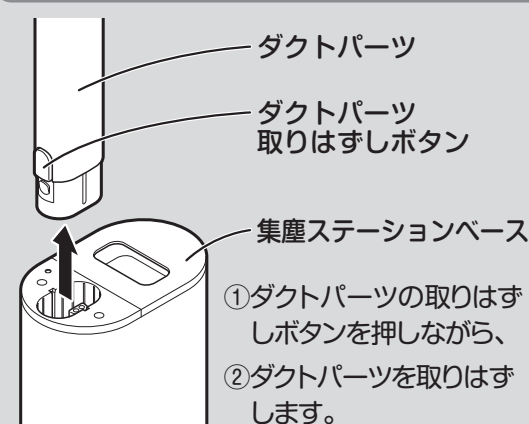
HEPAフィルターがはずれなくなる原因になります。

8 ハンディクリーナーにダストケースを取り付ける (⇒8p参照)

集塵ステーションベース・ダクトパーツ・2 in 1すき間ノズルホルダー・エアフィルターカバー・エアフィルター・ふた

1 各パーツを取りはすす

ダクトパーツを取りはすす



- ①ダクトパーツの取りはずしボタンを押しながら、
- ②ダクトパーツを取りはずします。

2 in 1すき間ノズルホルダーを取りはすす



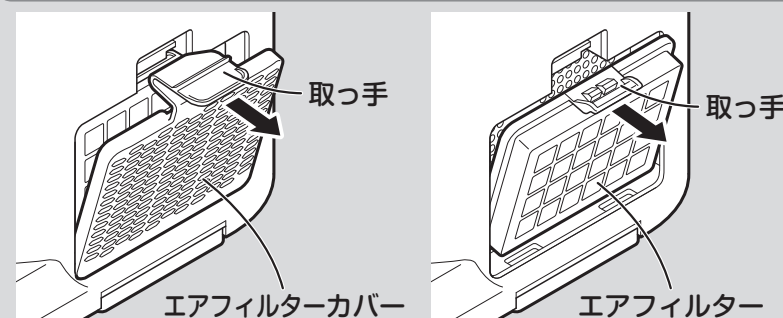
ふたを取りはすす



ふた

集塵ステーションベース

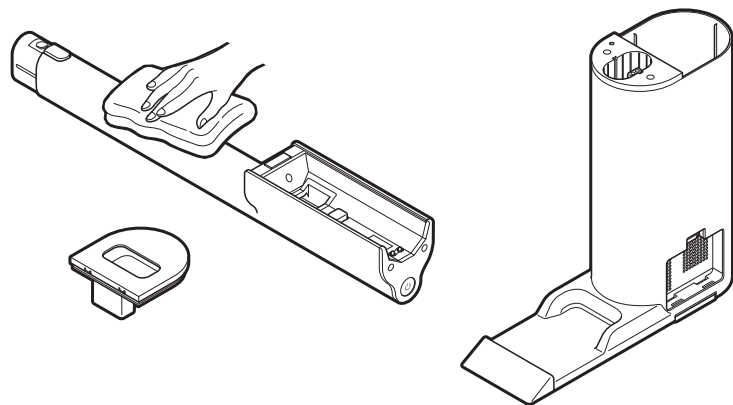
エアフィルターカバー・エアフィルターを取りはすす



- ①エアフィルターカバー・エアフィルターの取っ手を下げながら、
- ②エアフィルターカバー・エアフィルターを取りはずします。

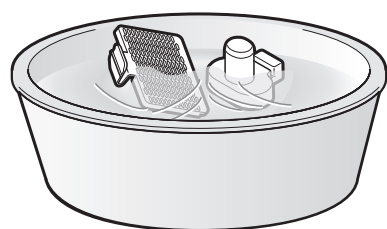
2 各パーツの汚れを取る

水を含ませ固く絞ったやわらかい布で各パーツの汚れをふき取ります。



3 エアフィルターカバーと2 in 1 すき間ノズルホルダーを水洗いする

- ①水道水を使い、つけ洗いします。
- ②洗ったあとは、日陰で自然乾燥させます。



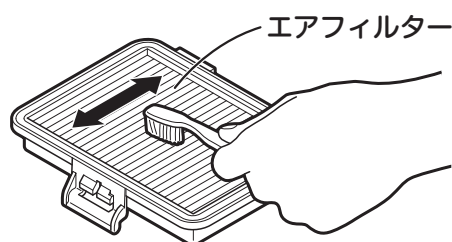
注意

ドライヤーなど温風や直射日光で乾かさな
変形することがあります。

エアフィルターは水
洗いしない
内部に水がたまって、
故障の原因になります。

4 エアフィルターの汚れを取る

やわらかいブラシなどで、エアフィルターの折り目に沿ってほこりなどを取り除きます。



注意

エアフィルターは水
洗いしない
内部に水がたまって、
故障の原因になります。

エアフィルターには必
要以上に力を入れない
エアフィルターが傷んだ
り、破れる原因になります。

5 集塵ステーションを組み立てる (⇒9p参照)



注意

エアフィルター、エアフィルターカバーは必
ず取り付ける
エアフィルターを取り付けずに使用すると故障の
原因になります。

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

こんなときは

原因・調べるところ

直しかた

・電源を「ON」に
しても運転しない

・充電ができていない
・バッテリーの残量が
不足している

・充電する

10p参照

・充電できない

・差し込みプラグがコンセ
ントに差し込まれていない
・充電式バッテリーの
安全装置がはたらい
ている
・ダクトパーツが正しく
取り付けられていない

・差し込みプラグをコンセ
ントに正しく差し込む 10p参照
・集塵ステーションからクリーナーをは
ずし、1時間程度放置してから再度集塵
ステーションにセットしてください。 11p参照
・ダクトパーツを正しく
取り付ける 9p参照

・クリーナーの吸引力
が弱い

・ダストケースがゴミで
一杯になっている
・紙パックのゴミがたまっている
・パワーブラシの吸い込み口
等にゴミが詰まっている
・HEPAフィルターが
汚れている
・エアフィルターが汚れ
ている
・HEPAフィルターが正しく
取り付けられていない
・エアフィルターが正しく
取り付けられていない
・バッテリー残量低下

・ゴミを吸引する 14p参照
・紙パックを交換する 15p参照
・詰まっているゴミを
取り除く 16p参照
・HEPAフィルターを
お手入れする 19p参照
・エアフィルターをお手
入れする 21p参照
・HEPAフィルターを正しく
取り付ける 20p参照
・エアフィルターを正しく
取り付ける 9p参照
・充電する 10p参照

・排気口からにおいが
する

・HEPAフィルターとダ
ストケースが正しく取
り付けられていない
・エアフィルターとエア
フィルターカバーが汚れ
ている

・HEPAフィルターとダ
ストケースを一度取りはずしてか
ら、再度正しく取り付け 19p参照
・エアフィルターとエアフィル
ターカバーのお手入れをする 21p参照

・ダストケースが
ハンディクリーナーに
取り付けられない

・HEPAフィルターが正しく
取り付けられていない

・HEPAフィルターをダスト
ケースに正しく取り付け 20p参照

・ 集塵ステーションの 吸引力が弱い	・ 紙パックのゴミが たまっている ・ 紙パックが正しく取り 付けられていない ・ エアフィルターが 汚れている	・ 紙パックを交換する 15p参照 ・ 紙パックを正しく取り付ける 15p参照 ・ エアフィルターを お手入れする 21p参照
・ 吸引ボタンを「ON」に しても集塵ステーション の吸引が開始されない	・ 紙パックのゴミが たまっている ・ 紙パックが正しく取り 付けられていない ・ ふたが正しく取り 付けられていない	・ 紙パックを交換する 15p参照 ・ 紙パックを正しく取り付ける 15p参照 ・ ふたを正しく取り付ける 9p参照
・ 運転音が大きくなった	・ HEPAフィルターが 汚れている ・ エアフィルターが 汚れている ・ パワーブラシの吸い込み口 等にゴミが詰まっている	・ HEPAフィルターを お手入れする 19p参照 ・ エアフィルターを お手入れする 21p参照 ・ 詰まっているゴミを 取り除く 16p参照
・ 運転中に止まって しまう	・ 安全装置がはたらいている ・ バッテリー残量低下	・ 電源を「OFF」にし、パワーブラ シ、HEPAフィルター、エアフィ ルターのゴミを取り除いたうえ で、1時間程度放置する 12p参照 ・ 充電する 10p参照

修理を依頼される場合は「保証とアフターサービス」(⇒27p)をご覧ください。

充電式バッテリーについて

リチウムイオンバッテリーは消耗品です。

内蔵のリチウムイオン充電式バッテリーは消耗品です。くり返し使用すると、持続時間が徐々に短くなります。充電式バッテリーの寿命は、充電と使用のくり返しで約500回です。充電式バッテリーが寿命により、充電できない、充電しても使用時間が短いなどの場合には、当社のサービスセンターへご相談ください。有料にて交換対応いたします。充電式バッテリーの交換をご要望の場合には充電式バッテリーを取り出さず、クリーナー本体を当社サービスセンターへご送付ください。(⇒27p参照)

Point

充電式バッテリーを使用せずに長期間放置すると、自然放電による劣化の原因となります。劣化防止のため、3ヶ月に一度を目安に、充電→動作が止まるまで運転→充電を行なってください。周囲温度が5～35℃以内で充電してください。

品 番	CM-HC29
電 源	入力：AC100V 50/60Hz、出力：DC13.5V 500mA
電 池	リチウムイオン充電式バッテリー 11.1V
連 続 使 用 時 間	エコモード：最大約20分、強モード：最大約9分（満充電時）
運 転 音	スティッククリーナー：約70dB 集塵ステーション：約80dB
ク リ ー ナ ー 集 塵 容 量	約70ml
集塵ステーション 集 塵 容 量	約800ml
充 電 時 間	約4.5時間
外 形 寸 法	幅235×奥行き210×高さ1060mm（スティック時） 幅 73×奥行き100×高さ 442mm（ハンディ時） 幅235×奥行き360×高さ1090mm（スティッククリーナーをセット時）
質 量	1.1kg（スティック時） 0.6kg（ハンディ時） 3.8kg（スティッククリーナーをセット時）
コ ー ド の 長 さ	約1m
付 属 品	2 in 1 すき間ノズル、2 in 1 すき間ノズルホルダー、紙パック

※品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。

商品の廃棄について

この商品には、リサイクル可能なリチウムイオン充電式バッテリーを使用しております。リチウムイオン充電式バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用にならなくなった本商品を廃棄する場合は、分解せず、お住まいの自治体の指示に従ってリサイクルにご協力ください。

ご使用にならない充電式バッテリーは稀少資源の有効活用のため、リサイクルにご協力ください。
リサイクルはゴミを減らし環境を守ることに繋がります。



ご使用の前に

お掃除をする

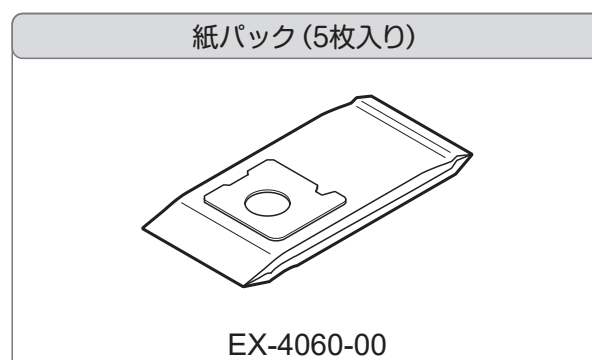
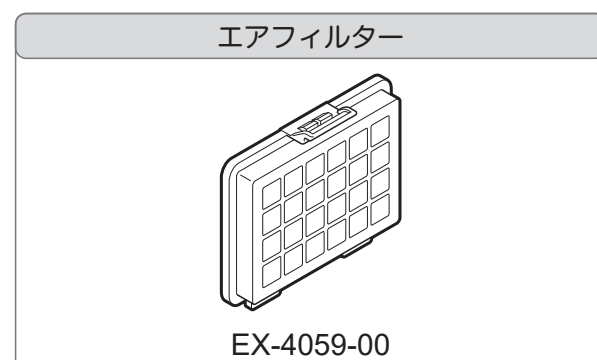
ゴミを捨てる

お手入れ

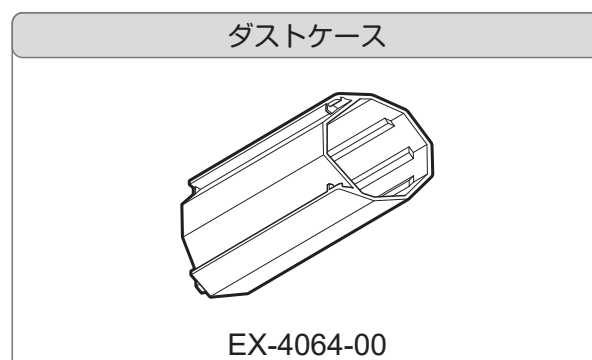
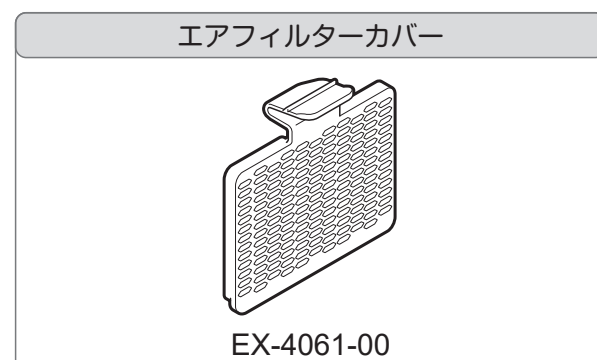
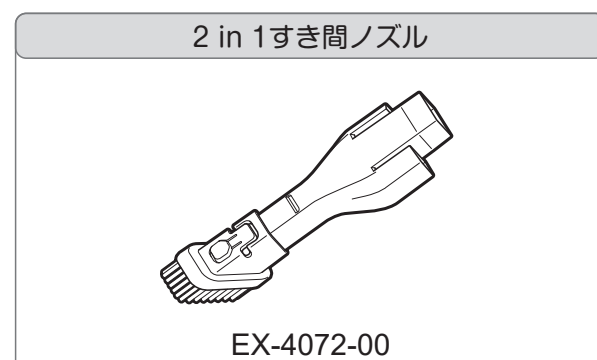
困ったときに

お買い上げの販売店または、当社サービスセンターでお買い求めください。

◎消耗品



◎別売部品



- この商品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間後の修理は・・・
販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 商品修理に関する取り決めについて
お客様からお預かりした大事な商品の取り扱いに関しては、弊社修理規約・規定に則り対応いたします。修理をお申込みの際は、弊社ホームページに記載している弊社修理規定をご一読していただきますようお願い申し上げます。
<<https://www.ccp-jp.com/life/kitei.pdf>>
注意) 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのご質問は

株式会社 シー・シー・ピー サービスセンター

TEL. 075-692-1001 FAX. 075-681-0904

営業日：月曜～金曜（但し、祝日は除きます）お電話受付時間 10：00～17：00

愛情点検	長年ご愛用の商品の点検を！
	このような症状はありませんか？ ● ボタンを押しても、ときどき運転しないことがある。 ● 本体が変形したり、異常に熱い。 ● こげくさい臭いがする。 ● その他の異常、故障がある。
	このような症状のときは、事故防止のため、直ちにご使用を止めていただき、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。